

平成29年2月定例会 県土整備委員会（事前）

平成29年2月9日（木）

〔委員会の概要 企業局関係〕

島田委員長

ただいまから、県土整備委員会を開会いたします。（10時33分）

議事に入るに先立ち、御報告いたします。

去る8日の議会運営委員会において、提出予定議案のうち、議案第51号平成28年度徳島県一般会計補正予算（第4号）については、本日の委員会で十分審査し、開会日には委員会付託を省略して議決することと決定いたしておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、議事に入ります。

これより、当委員会の閉会中継続調査事件を議題といたします。

まず、企業局関係の調査を行います。この際、企業局関係の2月定例会提出予定議案について、理事者側から説明を願うとともに、報告事項があれば、これを受けることにいたします。

【提出予定議案】（資料①）

- 議案第22号 平成29年度徳島県電気事業会計予算
- 議案第23号 平成29年度徳島県工業用水道事業会計予算
- 議案第24号 平成29年度徳島県土地造成事業会計予算
- 議案第25号 平成29年度徳島県駐車場事業会計予算

【報告事項】

- 徳島県企業局経営計画（案）関係について（資料②③④）

黒石企業局長

今議会に提出を予定しております案件につきまして、御説明申し上げます。

今回御審議をお願いいたします案件は、平成29年度徳島県電気事業会計予算、ほか3事業会計予算の計4件でございます。

お手元の県土整備委員会説明資料の1ページをお開きください。

平成29年度主要施策の概要についてでございます。

まず1、電気事業でございますが、那賀川及び勝浦川の水力発電、並びにマリンピア沖洲、和田島の太陽光発電によりまして、クリーンで安定した電力の供給に努めてまいります。

また、発電機能の維持を図るため、必要な発電施設の調査、修繕及び改良工事を行うとともに、自然エネルギー活用の促進や啓発、地域貢献に取り組んでまいります。

次に2、工業用水道事業でございますが、県東部地域に立地する各工場の需要に応じ、工業用水の供給を行ってまいります。

また、施設の機能維持及び南海トラフ巨大地震対策のため、必要な調査、修繕及び改良工事を行ってまいります。

次に3、土地造成事業でございますが、西長峰工業団地につきまして、適切な維持管理に努めてまいります。

最後に4、駐車場事業でございますが、藍場町地下駐車場及び松茂駐車場の、利便性の向上と、効率的な運営に努めるとともに、利用者拡大に向けた取組を行ってまいります。

2ページをお開きください。

Ⅱ、提出予定案件につきまして、最初に、平成29年度徳島県電気事業会計予算でございます。

まず、（1）業務の予定量のア、供給電力量は、水力発電所におきましては、坂州発電所ほか3発電所で、合計3億2,610万キロワットアワーを、太陽光発電所におきましては、マリンピア沖洲及び和田島で、合計458万キロワットアワーを予定しております。

イ、建設改良工事につきましては、既設設備改良工事に四つの水力発電所と総合管理事務所、本局、及びマリンピア沖洲太陽光発電所の合計で、5億3,144万6,000円を予定しております。

次に、3ページから4ページの収益的収入及び支出についてでございます。

まず、3ページを御覧ください。

収入といたしまして、電力料として、四国電力株式会社への供給電力料29億9,370万3,000円など、合計33億590万6,000円を計上しております。

次に、4ページをお開きください。支出としましては、人件費10億3,143万4,000円、その他費用におきまして、小水力発電普及促進事業756万円、インフラ点検ロボット活用研究事業324万円など、合計31億5,084万4,000円を計上しております。

以上、記載はございませんが、収入の計から、支出の計を差し引いた純利益としまして、当年度は、1億5,506万2,000円を予定しております。

次に、5ページから6ページの、資本的収入及び支出についてでございます。

5ページを御覧ください。収入としましては、他会計長期貸付金等返還金4億7,086万2,000円など、合計4億7,125万9,000円を計上しております。

6ページをお開きください。支出としましては、建設改良費5億3,144万6,000円と、投資として、他会計貸付金など、5億30万円の、合計10億3,174万6,000円を計上しております。

建設改良費で主なものとしましては、日野谷発電所法面補強（1）1億1,205万8,000円、日野谷発電所川側擁壁耐震対策（3）7,000万円などを予定しております。

以上、資本的収入額が資本的支出額に対し、不足する額5億6,048万7,000円につきましては、過年度分損益勘定留保資金などで補てんすることとしております。

次に、7ページを御覧ください。（4）債務負担行為としまして、小水力発電流況調査及び概略設計業務委託契約ほか、三つの工事請負契約の限度額、その他、電気事業会計における一時借入金の限度額などを記載しております。

続きまして、8ページをお開きください。

平成29年度徳島県工業用水道事業会計予算についてでございます。

（１）業務の予定量でございますが、吉野川北岸と阿南の二つの工業用水道から、合計33事業所に対しまして、年間6,645万5,550立方メートルの工業用水の供給を予定しております。

一番下の建設改良工事につきましては、二つの工業用水道の合計で、6億7,752万7,000円を予定しております。

次に、9ページから10ページの、収益的収入及び支出についてでございます。

9ページを御覧ください。

収入としまして、給水収益10億9,841万4,000円など、合計12億1,740万3,000円を計上しております。

10ページをお開きください。

支出としましては、人件費の2億2,734万8,000円など、合計11億214万6,000円を計上しております。

以上、記載はございませんが、収入の計から、支出の計を差し引いた純利益としまして、当年度は、1億1,525万7,000円を予定しております。

続きまして、11ページから12ページの、資本的収入及び支出についてでございます。

11ページを御覧ください。

収入としましては、他会計長期借入金として、電気事業会計から5億円など、合計5億943万2,000円を計上しております。

12ページをお開きください。

支出としましては、建設改良費6億7,752万7,000円、及び企業債償還金1億9,599万5,000円の合計8億7,352万2,000円を計上しております。

なお、工業用水道耐震化老朽化対策事業としまして、吉野川北岸工業用水道で、鳴門配水本管布設替1億4,981万円、今切配水本管管更生1億5,000万円、阿南工業用水道で、幸野配水支管管更生2億2,500万円などを計上しております。

以上、資本的収入額が資本的支出額に対し、不足する額3億6,409万円につきましては、過年度分損益勘定留保資金などで補てんすることとしております。

次に、13ページを御覧ください。

（４）債務負担行為としまして、長岸水管橋撤去事業工事請負契約の限度額、その他工業用水道事業会計における一時借入金の限度額などを記載しております。

14ページをお開きください。

平成29年度徳島県土地造成事業会計予算についてでございます。

まず、（１）業務の予定量でございますが、西長峰工業団地の管理事業として、113万2,000円を予定しております。

次に、15ページから16ページの、収益的収入及び支出についてでございます。

15ページを御覧ください。

収入としまして、西長峰工業団地A・B区画賃貸料774万円など、合計825万9,000円を計上しております。

16ページをお開きください。

支出としまして、一般管理費として、西長峰工業団地の管理に要する経費、150万

3,000円など、合計150万4,000円を計上しております。

以上、記載はございませんが、収入の計から、支出の計を差し引いた純利益としまして、当年度は、675万5,000円を予定しております。

次に、17ページから18ページの、資本的収入及び支出についてでございます。

17ページを御覧ください。

収入としまして、病院事業会計などからの他会計長期貸付金返還金、1億3,769万3,000円を計上しております。

支出につきましては、該当ございません。

18ページをお開きください。

土地造成事業会計における一時借入金の限度額を記載しております。

続きまして、19ページを御覧ください。

平成29年度徳島県駐車場事業会計予算についてでございます。

まず、（１）業務の予定量のア、収容台数でございますが、藍場町地下駐車場295台、松茂駐車場230台の、計525台で運営することとしております。

イ、建設改良工事につきましては、2駐車場合計で、1,942万7,000円を予定しております。

次に、20ページから21ページの、収益的収入及び支出についてでございます。

20ページをお開きください。

収入につきましては、駐車場収益としまして、指定管理者からの納付金7,500万円など、合計7,598万9,000円を計上しております。

21ページを御覧ください。

支出につきましては、修繕費などの一般管理費6,886万6,000円など、合計6,886万9,000円を計上しております。

以上、記載はございませんが、収入の計から、支出の計を差し引いた純利益としまして、当年度は712万円を予定しております。

22ページをお開きください。

資本的収入及び支出についてでございます。

収入につきましては、該当ございません。

支出としましては、二つの駐車場の建設改良費、1,942万7,000円を計上しております。

続きまして、23ページを御覧ください。

駐車場事業会計における一時借入金の限度額などを記載しております。

以上で、平成29年度徳島県電気事業会計予算ほか、3事業会計予算の説明を終わらせていただきます。

続きまして、この際、1点御報告させていただきます。

徳島県企業局経営計画（案）関係についてでございます。

お手元に、資料1の1として徳島県企業局経営計画（案）、資料1の2として徳島県企業局経営計画（案）進行管理表の概要について、資料1の3で進行管理表本体をお配りしております。

さきの11月定例会において、次期徳島県企業局経営計画素案を御報告させていただき、

御議論を頂いたところであり、さらに、12月から1月にかけて、パブリックコメントを実施し、4名の方から7件の御意見を頂いたところです。

今回は、徳島県企業局経営計画（案）として御報告させていただきます。

また、この経営計画（案）につきまして、この度、目標達成に向けた具体的な取組を示し、その進捗管理をするための進行管理表を作成いたしました。

この進行管理表は、平成29年度から平成33年度までの5年間で取り組むべき重点施策について、進捗管理を定めたものでございます。

お手元の資料1の2、徳島県企業局経営計画（案）進行管理表の概要についてに添って、御説明させていただきます。

まず、1、進行管理表の重要業績評価指標（K P I）の新旧比較についてでございます。

取組項目数としましては、現計画の62項目に対して、次期計画では67項目を設定しております。

内訳としましては、新規・改変62項目と継続5項目であります。

このうち、新規・改変項目については、新たに追加した取組が16項目、現計画の取組に新たな要素を盛り込み、改変したものが46項目でございます。

次に、2、主な重要業績評価指標（K P I）についてでございます。

主な内容について、御説明させていただきます。

まず、表の左上のⅠ、自然エネルギー導入の加速では、小水力発電の先導的取組として、砂防堰堤などを活用した実証モデルの検討・導入に取り組むこととし、平成29年度から流況調査と概略設計に着手し、平成32年度から小水力発電施設の実証実験を開始することとしております。

次に、Ⅱ、既存ストックの有効活用と政策連携による地方創生への貢献では、東京五輪キャンプ地支援として、局有地への艇庫用地や外灯の整備を行うとともに、地域が進める森づくり支援として、平成33年度までに500ヘクタールの森林の取得支援を実施してまいります。

Ⅲ、戦略的な情報発信の推進では、川口ダム自然エネルギーミュージアムを活用した見学会等の実施に取り組むこととし、ミュージアム見学者数を年間12,000人以上と設定しております。

V、工事費、維持管理等の効率化については、平成29年度には、維持管理へのロボット活用の調査・研究に取り組むことといたしております。

Ⅵ、未来を切り拓く人づくりと組織づくりについては、自然エネルギーなどの新たな課題に対応するための検討チームを設置することとし、平成29年度には、他部局職員や若手職員を含めたタスクフォースを設置し、新たな課題に向けた検討を毎年実施してまいります。

最後に、Ⅶ、情報収集の強化については、利便性向上、利用者ニーズ把握に係る駐車場利用者へのアンケート調査に取り組むこととし、アンケートの実施を毎年1,000人以上に設定しております。

以上、進行管理表を含めました経営計画（案）につきましては、2月議会の御審議を頂きまして、平成29年3月に策定いたしたいと考えております。

報告事項は以上でございます。

御審議のほど、よろしくお願いいたします。

島田委員長

これより質疑に入りますが、事前委員会の質疑につきましては、提出予定議案に関する質疑及び緊急を要する案件としての申合せがなされておりますので、御協力の方、よろしくお願いいたします。

それでは、質疑をどうぞ。

達田委員

今、この進行管理表で御説明を頂いた分なんですけれども、この中で既存ストックの有効活用、政策連携による地方創生への貢献とか書かれております。この中で東京五輪キャンプ地支援を見据えたカヌー拠点整備支援とか、地域が進める森づくりを支援ということについて、もう少し詳しく場所とか規模とかを教えていただけたらと思います。

川真田企業局次長

達田委員から周辺整備事業、既存ストックの五輪キャンプ地を見据えたカヌー拠点整備事業についての御質問を頂きました。お答えさせていただきます。

県では、2020年に開催されます東京オリンピック・パラリンピックでドイツカヌーチームの那賀町へのキャンプ誘致を目指しているところでございまして、企業局が所有しております川口ダム湖畔のダム管理用地を整備提供することや、外街灯等を設置することによりまして、那賀町が主体となり進めますカヌー艇庫、カヌーの保管倉庫の建設や栈橋の設置などの拠点整備を支援するものでございます。

桑村経営企画戦略課政策調査幹

もう一つの質問で、地域が進める森づくり支援の内容につきまして、御説明させていただきます。

森づくり支援につきましては、継続事業で、これまでも取り組んでまいりましたが、資料1-3のKPIの中にも書いてありますように、以前の計画では400ヘクタールだったものを、現計画では450ヘクタールに上方修正いたしまして、平成33年度までの5年間で500ヘクタールの取得に取り組もうと考えているものでございます。

達田委員

これまで森づくりについて、やっぱり豊かな水をたたえる森というのは本当に大事なことでということでお尋ねしてまいりましたが。今回改めて出ているのは、何か新しい取り組みといいますか、目新しいことがあるのでしょうか。

もう一つは、オリンピックということで準備をされるということなんですけれども、これ、私はカヌーのことに詳しくないんですけれども、建物が建つわけですか、艇を入れる建物が建つということですね。どれぐらいの規模のものなのか。それから、この予算です

ね、平成29年度の予算だけで終わるのか、それとも、また継続していくものなのか、そこを教えてくださいませんか。

川真田企業局次長

先ほどのダム湖周辺整備事業についての規模等について御質問を頂いたところでございます。

まず、企業局が受持ちをしますダム湖の整備事業としては、先ほど申しましたように用地の整地と外街灯の設置ということでございまして、面積には1,100平方メートルになるということでございます。それと、平成29年度でそれらの予算は終わってしまうということを考えています。

あと、建物の規模ですけれども、那賀町において今設計を進めておりますので、具体的なところは把握しておりません。

達田委員

つまり、お金はどこが出すんですか。

川真田企業局次長

お金を出すということは、整地とかそういうことについては、徳島県でございまして。建物に関しては那賀町において設計をすると聞いております。

企業局においては、先ほども繰り返しになるのですが、艇庫用地の整地と外街灯の設置ということでございます。

達田委員

カヌーの関係で言えば、徳島県が整地をして、そして建物は那賀町に建てていただくと。お金は全部、那賀町がしていただけるんですね。

そうしたら、できたものを企業局が管理しなくていいわけですね、那賀町が管理してくれるんですね。

川真田企業局次長

管理については町のほうがやっていただけるものというふうに考えています。

達田委員

チームが来ていただいて練習に使っていただけるというのは、素晴らしいと思うんですが、その後々を活用していただいて、県内でそういうチームがどんどんと力をつけていっていただくということも必要だと思うんです。その点、スポーツに関係しますので企業局がお金を出してするというのは、ちょっとおかしいかなと思います。企業局のお仕事というのは4分野に分かれておりますけれども、スポーツ関係というのがありません。やっぱりあの辺周辺でカヌーがどんどんと発展していったらいいんですが、そのお金の分担、それから、その施設をどうやって管理をしていくのかという、那賀町と企

業局とのその分担というのはきちんとできているわけですね。

川真田企業局次長

達田委員から、なぜ企業局がそういったカヌーのための土地の整地と外街灯の設置をするのかという御質問がございました。企業局において主要事業と申しますと、ダムでの発電事業となっておりまして、ダムでの発電事業を行う上で、やはり地域貢献も当然必要になってまいります。また、地域振興、地方創生も必要になってまいりますので、そういった意味から御支援をするという形で出させていただくものでございます。

達田委員

分担についてはわかりました。回廊という名前をつけておられますけれども、この周辺というのは、私ども、丹生谷に住んでいた者として、非常にきれいなところですね。春はサクラ、初夏にはアジサイ、秋にはモミジということで、本当にとってもきれいなところなんです。ですから、この施設とか自然を生かした、本当に人がどんどん集まってくるところにしていきたいと思っているわけです。けれども、やっぱりその分野分野で分担があると思いますので、そこをはっきりしていただいて、そして、お互いの力を合わせて発展していただけたらと思いますので、是非よろしく願いいたします。

桑村経営企画戦略課政策調査幹

先ほど達田委員から森づくり支援における新しい取組との質問がございました。森づくり支援の要旨といたしましては、多くの方々にこういう地域の取組や森林の環境保全を分かりやすく目に見える形で御覧いただくような取組を新しい取組として考えております。

島田委員長

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と言う者あり）

それでは、これをもって質疑を終わります。

以上で、企業局関係の調査を終わります。

議事の都合により、休憩いたします。（10時59分）